

OLC24/11/26撮影

ネガ・ポジまとめ

OLC: 主なネガティブトピック

大株主に対するファンドからの売り圧力

そもそもPERが高すぎた

今期(4月~9月)の入園者は伸び悩んでいる

中長期的な顧客離れ

舞浜エリアの開拓限界(出尽くし感)

OLC: 主なポジティブトピック

足元(秋冬)入園者は回復傾向

顧客単価の上昇

外国人ゲストは過去最高

28年からのディズニークルーズ

根強い人気

アトラクションのほかショーなども課金対象に

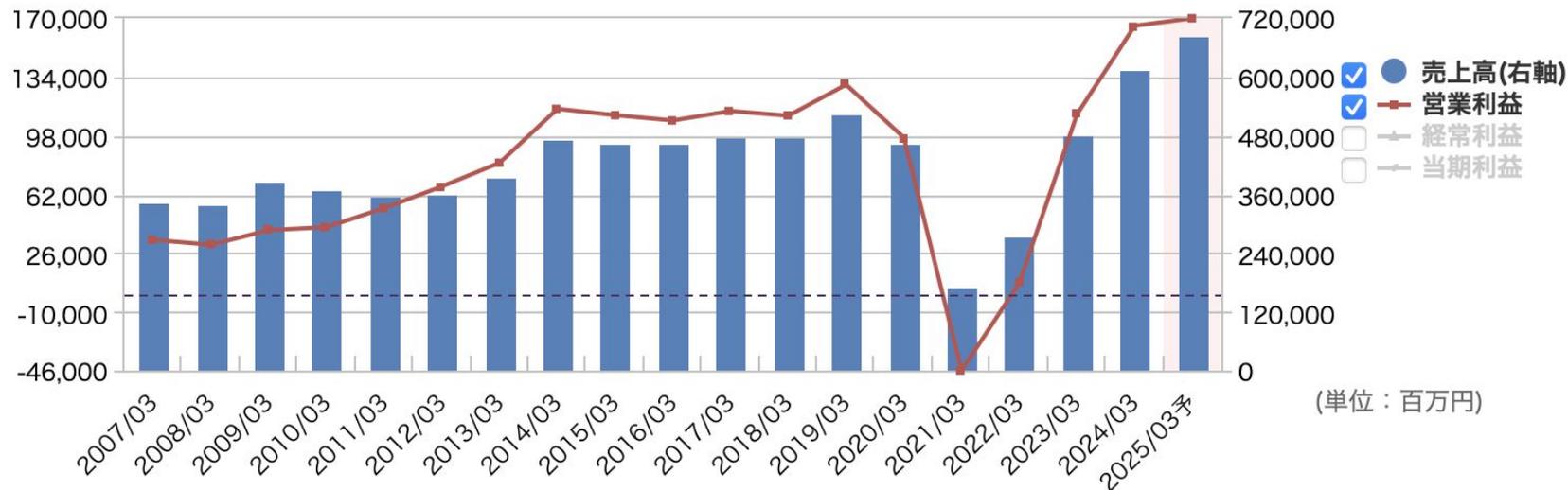
通期業績推移



業績 前期比 指数 利益率 変動要因

全期間

詳細:



東京ディズニーがクルーズ船事業 3300億円投じ28年度

エンタメ

+ フォローする

2024年7月9日 16:02 (2024年7月9日 17:08更新)



Think!

多様な観点からニュースを考える

藤元健太郎さんの投稿



首都圏発着の2~4泊の短期周遊クルーズを中心に運航する (9日、千葉県浦安市) =共同

| 年 | 1デーパス ポート (大人) |
|-------|-------------------|
| 1983年 | 3,900円 |
| 1987年 | 4,200円(+300円) |
| 1988年 | - |
| 1989年 | 4,400円(+200円) |
| 1992年 | 4,800円(+400円) |
| 1996年 | 5,100円(+300円) |
| 1997年 | 5,200円(+100円) |
| 2001年 | 5,500円(+300円) |
| 2003年 | - |
| 2006年 | 5,800円(+300円) |
| 2011年 | 6,200円(+400円) |

| | |
|--------------|------------------|
| 2014年 | 6,400円(+200円) |
| 2015年 | 6,900円(+500円) |
| 2016年 | 7,400円(+500円) |
| 2018年 | - |
| 2019年 | 7,500円(+100円) |
| 2020年 | 8,200円(+700円) |
| 2021年 3月 | 8,700円(+500円) |
| 2021年 10月 | 9,400円(+700円) |
| 2023年 10月 | 10,900円(+1,500円) |

アトラクションのほかショーなども課金対象に

価格

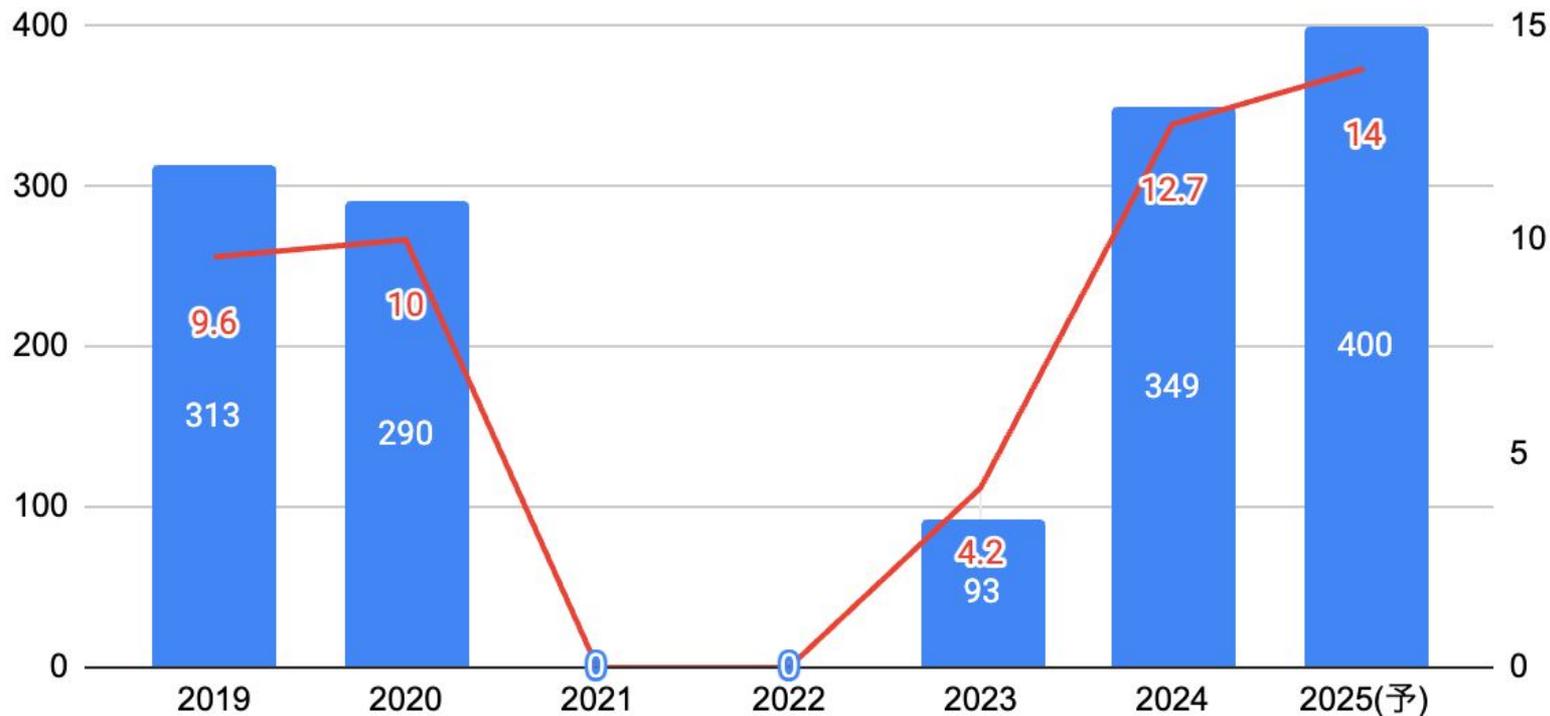
| | 施設名 | 価格 |
|----------|------------------------|----------|
| パレード/ショー | ピリーヴ!～シー・オブ・ドリームス～ | 2,500円/回 |
| | ビッグバンドビート～ア・スペシャルトリート～ | 2,500円/回 |
| アトラクション | アナとエルサのフローズンジャーニー | 2,000円/回 |
| | ラプンツェルのランタンフェスティバル | 2,000円/回 |
| | ピーターパンのネバーランドアドベンチャー | 2,000円/回 |
| | ソアリン：ファンタスティック・フライト | 2,000円/回 |
| | トイ・ストーリー・マニア! | 2,000円/回 |
| | タワー・オブ・テラー | 1,500円/回 |
| | センター・オブ・ジ・アース | 1,500円/回 |

| | 施設名 | 価格 |
|----------|---------------------------------|----------|
| パレード/ショー | ディズニー・ハーモニー・イン・カラー | 2,500円/回 |
| | 東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ | 2,500円/回 |
| | Reach for the Stars | 2,500円/回 |
| | ディズニー・クリスマス・ストーリーズ“フォンド・フェアウェル” | 2,500円/回 |
| | ミッキーのマジカルミュージックワールド | 2,500円/回 |
| | クラブマウスビート | 2,500円/回 |
| | ディズニー・パルパルーザ 第3弾新規パレード | 2,500円/回 |
| アトラクション | 美女と野獣“魔法のものがたり” | 2,000円/回 |
| | ベイマックスのハッピーライド | 1,500円/回 |
| | スブラッシュ・マウンテン | 1,500円/回 |

外国人入園者数が増加している

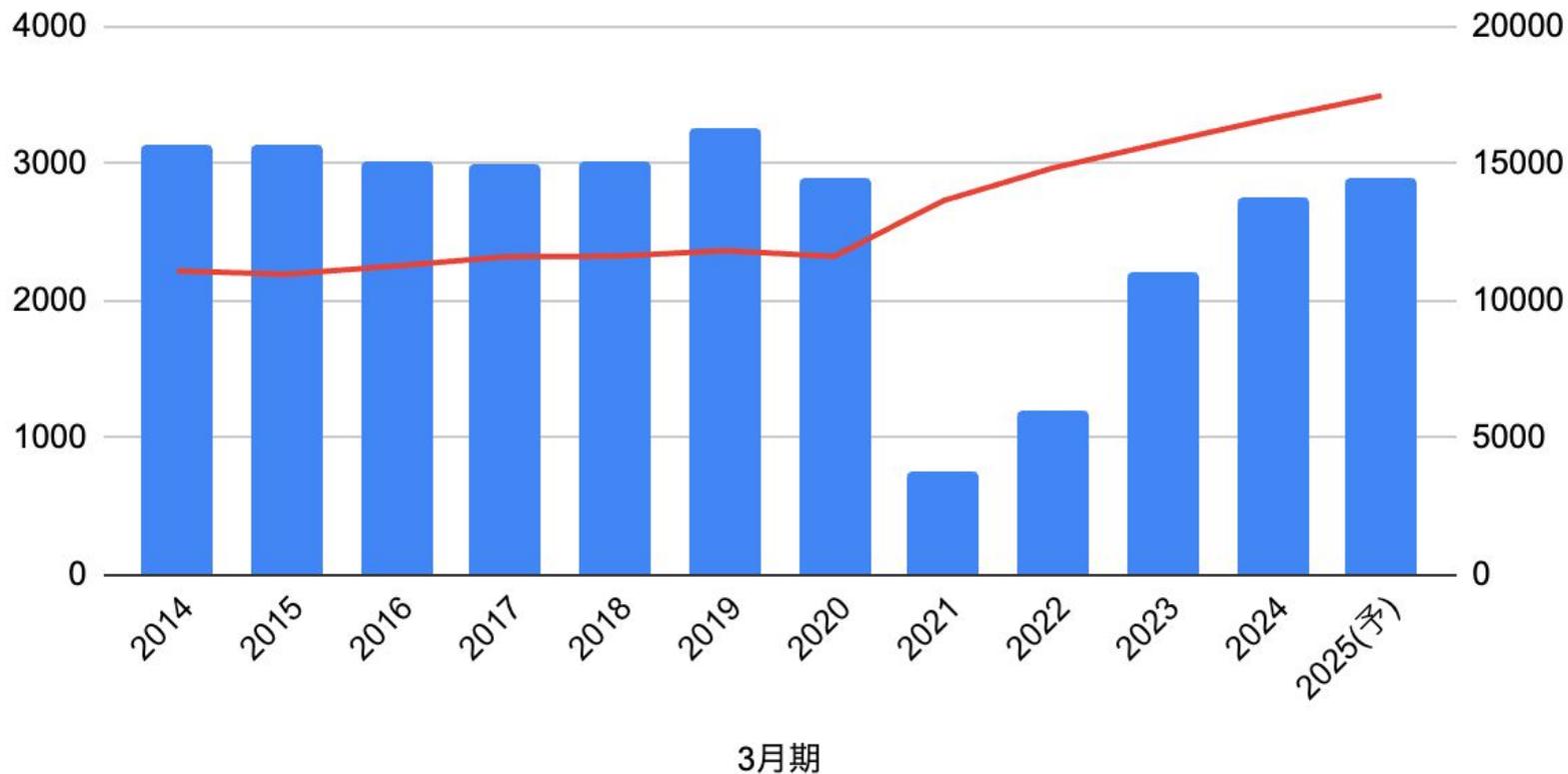
OLC 海外ゲストの来場動向

■ 外国人来園者数(左軸:万人) — 入園者に占める外国人割合(右軸:%)



入園者数はコロナ前と同水準。単価は上昇傾向

■ 入園者数 (左軸:万人) ■ 顧客単価 (右軸:円)



舞浜エリアの拡張余地は限られている

2008年



2024年

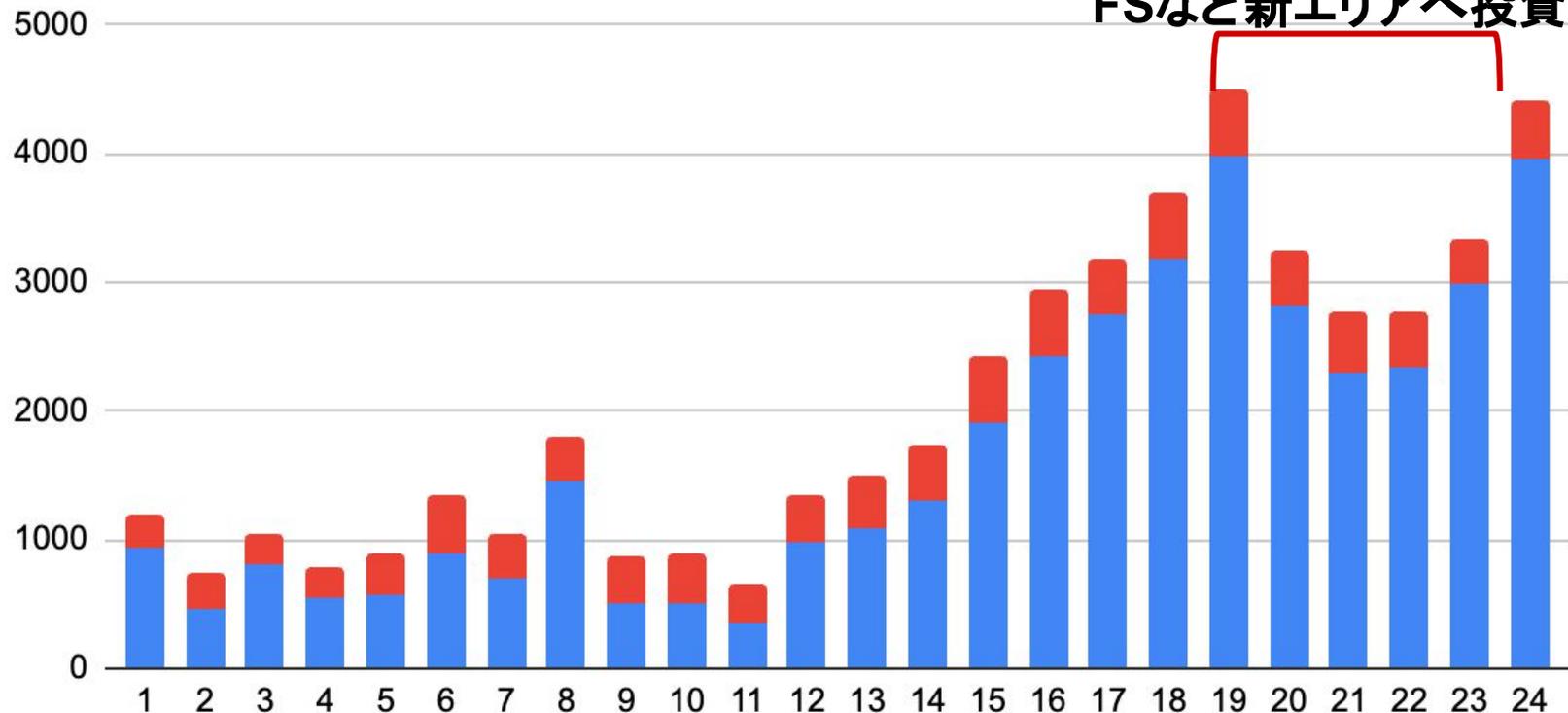


近年は投資を加速しているものの、現金は積み上がる

OLC 流動資産の推移

■ その他 ■ 現金及び有価証券

スペースマウンテン
FSなど新エリアへ投資加速



クルーズ船への投資

OLCの現状は主に3つの論点がある

入園者数

- ・2019年の年間3,255万人が過去最高
- ・今期予想は2,900万人から2,800万人へ下方修正

顧客単価

- ・ダイナミックプライシング導入
- ・新たなキャッシュポイントを創出

新規事業 への投資

- ・年間2,200億円のキャッシュを得ている
- ・コロナ禍以降、新規投資を加速している

入園者数の伸び悩みが最大のネガティブ要因

入園者数

- ✓ 猛暑
- ✓ リベンジ消費の終焉
- ✓ チケット価格の上昇の影響
- ✓ 国内少子高齢化

顧客単価

- ✓ USJとの競争?
- ✓ 値上げ疲れ

新規事業 への投資

- ✓ 舞浜エリアはほぼ開拓済み

いずれのトピックもポジティブ要素が存在

入園者数

- ✓ 足元秋冬のイベントは好調
- ✓ 海外ゲストは17.4%で過去最高、上期200万人で好調
→ 円安の恩恵も

顧客単価

- ✓ 基本路線は単価上昇
- ✓ DPAなど有償コンテンツの増加
- ✓ TDRバケーションパッケージ
- ✓ 期間限定券主のを検討中

新規事業 への投資

- ✓ 新エリアや既存アトラクションの改修
- ✓ ディズニークルーズは28年から